



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 大
 コード番号 6932 URL <http://www.endo-lighting.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 良三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営品質本部長 (氏名) 佐川 武志 (TEL) 06-6267-7095
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	20,679	87.8	4,499	261.3	4,063	271.9	2,367	—
24年3月期第2四半期	11,010	28.1	1,245	39.6	1,092	66.9	64	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,317百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △4百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	171.52	—
24年3月期第2四半期	5.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	39,481	16,302	41.3
24年3月期	33,245	8,954	26.9

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 16,288百万円 24年3月期 8,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.50	—	17.50	30.00
25年3月期	—	20.00			
25年3月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	50.9	8,200	97.7	7,400	111.8	4,700	115.3	328.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	14,776,321株	24年3月期	13,462,068株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	50株	24年3月期	843,450株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	13,800,772株	24年3月期2Q	12,618,618株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エコカー補助金等の政策効果や震災復興需要を背景として国内需要が堅調を維持したものの、欧州や新興国向け輸出の低迷により、全体としては停滞色が強まりました。加えて、尖閣諸島国有化を契機として、日中関係が緊迫の度合いを強めており、将来に対する不透明感が広がりつつあります。

このような経済状況の下で、当社グループは、高付加価値空間創造企業として、高効率なLED照明器具の開発、製造、販売に注力しました。夏季の電力不足懸念、省エネ指向の高まりもあって、当社製品に対する需要は旺盛であり、当社は、対前年同四半期比で大幅な増収を達成し、当第2四半期連結累計期間の売上高は206億79百万円(前年同四半期比87.8%の増収)となりました。

事業規模の拡大に際して、費用の増加を極力回避し業務の効率化に取り組んだ結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は40億63百万円(前年同四半期比271.9%の増益)となりました。

円高の進行により、将来の為替リスクに備えるための為替予約等の評価損3億71百万円を特別損失に計上しましたが、四半期純利益は23億67百万円(前年同四半期は64百万円の四半期純利益)と対前年同四半期比で大幅な増益を達成しました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① 照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、広島、仙台の7大都市に設置したショールームにおける展示会の開催等の積極的な販売活動を展開することにより、業務用LED照明分野における高いブランドイメージの確立に努めました。新製品に対する大手設計事務所、ゼネコン、サブコン等の評価も高く、商業施設やオフィス等の大型施設向けの販売が順調に推移しました。

海外子会社であるENDO Lighting(THAILAND)Public Co.,Ltd.及び昆山恩都照明有限公司(中国)は、LED照明器具の主力製造工場として生産体制を強化し、高品質でローコストな製品の安定供給を実現、当社グループの売上高及び利益の拡大に貢献しました。

この結果、売上高は200億64百万円(前年同四半期比86.2%の増収)(セグメント間取引含む。以下同じ。)、セグメント利益(営業利益。以下同じ。)は46億77百万円(前年同四半期比147.8%の増益)となりました。

② 環境関連事業

当セグメントにおきましては、当社グループの提供する、省エネ性能を重視した高効率LED照明器具や制御機器の消費電力削減効果が、食品スーパーを始め流通店舗で高い評価を得て、レンタル契約実績、機器販売高は順調に増加しました。

この結果、売上高は29億74百万円(前年同四半期比212.9%の増収)、セグメント利益は5億82百万円(前年同四半期比216.9%の増益)となりました。

③ インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、業務用家具に特化したカタログを建築士やインテリアデザイナー等に配布し、積極的な販売促進活動を展開する一方、代理店網の強化や特注家具の販売にも積極的に取り組み、ブランド認知度の向上と販路開拓に注力しました。インテリア家具事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、更なるコストダウン・物流合理化を推進することで採算性の向上

を図っております。

この結果、売上高は4億7百万円(前年同四半期比74.0%の増収)と増収を確保したものの、採算面は厳しく、セグメント損失は63百万円(前年同四半期は84百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間における総資産は394億81百万円(前連結会計年度末比62億36百万円の増加)となりました。

主な要因は、たな卸資産の増加24億72百万円及び有形固定資産の増加17億5百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間における負債は231億79百万円(前連結会計年度末比11億11百万円の減少)となりました。

主な要因は、借入金の減少21億14百万円及び未払法人税等の減少3億48百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産は163億2百万円(前連結会計年度末比73億47百万円の増加)となりました。

主な要因は、一般募集による新株式発行及び自己株式の処分並びに転換社債型新株予約権付社債の株式転換による資本金の増加16億26百万円及び資本剰余金の増加33億62百万円、四半期純利益23億67百万円によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、36億31百万円(前年同四半期比5億89百万円の増加)となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、2億91百万円(前年同四半期は、10億45百万円の減少)となりました。

主な要因は、増加要因として税金等調整前四半期純利益36億75百万円、減少要因として棚卸資産の増加25億2百万円、法人税等の支払額19億48百万円であります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、22億18百万円(前年同四半期は、16億72百万円の減少)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出21億70百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、35億6百万円(前年同四半期は、42億98百万円の増加)となりました。

主な要因は、増加要因として一般募集による新株式発行による収入22億29百万円、自己株式の処分による収入19億85百万円、転換社債型新株予約権付社債の発行による収入9億93百万円、減少要因として借入金の減少20億96百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成24年5月11日に公表しました平成25年3月期通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成25年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回発表予想	百万円 35,300	百万円 6,100	百万円 5,500	百万円 3,600	円 銭 285.29
②今回修正予想	40,500	8,200	7,400	4,700	328.97
③増減額 ②-①	5,200	2,100	1,900	1,100	—
④増減率 ③/①	14.7	34.4	34.5	30.6	—
(参考)前期実績 (平成24年3月期)	26,847	4,147	3,493	2,183	173.02

(参考)

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
①前回発表予想	百万円 32,300	百万円 4,500	百万円 2,800	円 銭 221.89
②今回修正予想	38,100	5,200	3,100	216.98
③増減額 ②-①	5,800	700	300	—
④増減率 ③/①	18.0	15.6	10.7	—
(参考)前期実績 (平成24年3月期)	25,693	3,056	1,715	135.92

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産につきましては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,828	3,781
受取手形及び売掛金	6,869	7,337
商品及び製品	5,122	6,892
仕掛品	632	597
原材料及び貯蔵品	3,472	4,209
繰延税金資産	1,038	1,293
その他	1,736	2,159
貸倒引当金	△2	△57
流動資産合計	21,699	26,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,798	5,040
減価償却累計額	△2,093	△2,177
建物及び構築物(純額)	2,704	2,863
機械装置及び運搬具	1,582	1,671
減価償却累計額	△1,108	△1,136
機械装置及び運搬具(純額)	474	535
土地	4,093	4,084
リース資産	546	906
減価償却累計額	△12	△75
リース資産(純額)	534	830
建設仮勘定	297	1,325
その他	2,744	3,153
減価償却累計額	△1,793	△2,031
その他(純額)	950	1,122
有形固定資産合計	9,056	10,762
無形固定資産		
ソフトウェア	641	595
ソフトウェア仮勘定	1	1
のれん	816	812
リース資産	—	14
借地権	71	71
電話加入権	2	2
無形固定資産合計	1,534	1,498
投資その他の資産		
投資有価証券	216	207
繰延税金資産	413	462
その他	449	459
貸倒引当金	△123	△121
投資その他の資産合計	955	1,007
固定資産合計	11,546	13,267
資産合計	33,245	39,481

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,191	4,421
短期借入金	6,670	4,383
1年内返済予定の長期借入金	1,188	1,296
1年内償還予定の社債	300	300
リース債務	101	174
未払法人税等	1,984	1,635
賞与引当金	488	534
役員賞与引当金	30	—
製品保証引当金	323	536
デリバティブ債務	272	369
その他	1,738	1,940
流動負債合計	17,289	15,592
固定負債		
長期借入金	3,278	3,342
リース債務	620	879
退職給付引当金	450	455
役員退職慰労引当金	379	390
修繕引当金	13	20
デリバティブ債務	2,056	2,296
その他	202	202
固定負債合計	7,001	7,586
負債合計	24,290	23,179
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,529	5,155
資本剰余金	2,176	5,539
利益剰余金	3,588	5,735
自己株式	△249	△0
株主資本合計	9,045	16,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	△1
繰延ヘッジ損益	—	△30
為替換算調整勘定	△104	△109
その他の包括利益累計額合計	△97	△141
少数株主持分	6	13
純資産合計	8,954	16,302
負債純資産合計	33,245	39,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	11,010	20,679
売上原価	6,240	11,108
売上総利益	4,769	9,570
販売費及び一般管理費	3,524	5,070
営業利益	1,245	4,499
営業外収益		
受取利息及び配当金	7	6
受取賃貸料	12	14
仕入割引	14	3
その他	39	43
営業外収益合計	73	67
営業外費用		
支払利息	55	76
売上割引	101	165
為替差損	63	173
その他	6	88
営業外費用合計	226	503
経常利益	1,092	4,063
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
事務所移転費用引当金繰入額	131	—
デリバティブ評価損	813	371
その他	16	17
特別損失合計	961	388
税金等調整前四半期純利益	131	3,675
法人税、住民税及び事業税	529	1,600
法人税等調整額	△457	△288
法人税等合計	72	1,312
少数株主損益調整前四半期純利益	59	2,363
少数株主損失(△)	△4	△3
四半期純利益	64	2,367

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59	2,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△8
繰延ヘッジ損益	—	△30
為替換算調整勘定	△55	△7
その他の包括利益合計	△64	△45
四半期包括利益	△4	2,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2	2,323
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	131	3,675
減価償却費	422	602
のれん償却額	—	21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	54
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△64	45
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	21	213
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14	6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8	10
受取利息及び受取配当金	△7	△6
支払利息	55	76
固定資産除売却損益 (△は益)	16	2
事務所移転費用引当金の増減額 (△は減少)	131	—
デリバティブ評価損益 (△は益)	813	371
売上債権の増減額 (△は増加)	△486	△466
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,444	△2,502
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,138	290
未払金の増減額 (△は減少)	206	△0
その他	△604	△669
小計	△641	1,724
利息及び配当金の受取額	7	6
利息の支払額	△49	△74
法人税等の支払額	△361	△1,948
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,045	△291
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△797	△2,170
無形固定資産の取得による支出	△36	△35
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△893	—
その他	54	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,672	△2,218
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,367	△2,268
長期借入れによる収入	1,430	800
長期借入金の返済による支出	△373	△628
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	993
セール・アンド・リースバックによる収入	—	661
リース債務の返済による支出	—	△60
株式の発行による収入	—	2,229
自己株式の売却による収入	—	1,985
少数株主からの払込みによる収入	—	12
配当金の支払額	△125	△220
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,298	3,506
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	△43
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,537	952
現金及び現金同等物の期首残高	1,504	2,678
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,042	3,631

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	9,871	904	234	11,010	11,010
セグメント間の内部売上高 又は振替高	903	46	—	949	949
計	10,775	950	234	11,959	11,959
セグメント利益又は損失(△)	1,887	183	△84	1,986	1,986

(注) なお、前連結会計年度末をもってリビング事業から撤退しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,986
セグメント間取引消去	△122
全社費用(注)	△618
四半期連結損益計算書の営業利益	1,245

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「照明器具関連事業」セグメントにおいて、平成23年9月9日に、Icon International, Inc.の全株式を取得し連結子会社としたことから、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては830百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連事業	インテリア 家具事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	17,384	2,888	407	20,679	20,679
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,680	86	—	2,767	2,767
計	20,064	2,974	407	23,446	23,446
セグメント利益又は損失(△)	4,677	582	△63	5,196	5,196

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,196
セグメント間取引消去	△123
全社費用(注)	△573
四半期連結損益計算書の営業利益	4,499

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月5日を払込期日とする一般募集による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,126百万円増加し、同日を払込期日とする一般募集による自己株式の処分により、その他資本剰余金(自己株式処分差益)が1,736百万円増加し、自己株式が249百万円減少しております。

また、平成24年9月20日付で転換社債型新株予約権付社債1,000百万円の株式転換が完了し、資本金及び資本準備金がそれぞれ500百万円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が5,155百万円、資本剰余金が5,539百万円、自己株式が0百万円となっております。